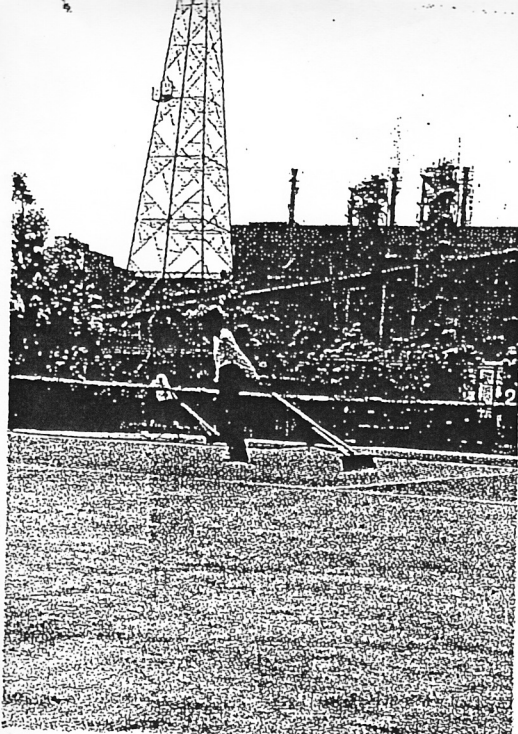


ばい煙に住民苦情

17.6.22 朝刊

姫路市 文書で改善指導

姫路市広畑区富士町の新日鉄広畑製鉄所の周辺住民から、ばい煙に対する苦情が相次いで市に寄せられていることが分かった。「テニスコートの地面が汚れている」「洗濯物が黒くなる」などの内容で、市は同製鉄所から出たばい煙が原因とみて、文書で改善を指導。製鉄所側は23日、発生源と対応策について市に中間報告する。



21日の市議会厚生委員会で、藤本洋議員（共産）がこの問題を取り上げた。市環境保全課によると、4月25日、同製鉄所の北隣にある市立広畑テニスコート（10面）の利用客から「プレーするときにボールが黒くなる」と訴える。市は同製鉄所と話し合い、改善を指導した。同製鉄所は23日、発生源と対応策について市に中間報告する。

「公園の遊具に触ると手が黒くなる」といった電話やメールが相次ぎ、苦情は今月20日までに計27件にのぼった。週一回、近所の友人とテニスコートを利用している同市勝原区の主婦（40）は「うっかりベンチに座ると服が黒くなるし、ボールも手も汚れてしまう。強い悪臭がする日もあり、早くなんとかしてほしい」と訴える。

ばい煙で汚れた市立広畑テニスコート。後ろに新日鉄広畑製鉄所の工場が見える。姫路市広畑区鶴町2丁目。

市立広畑テニスコートは、来年秋に開かれる「のじぎょ兵庫国体」のソフトテニス会場で、今年7月には、リハーサルを兼ねた実業団の全国大会が予定されている。21日の厚生委員会でも藤本議員は「真の黒なコートでテニス大会をやるのは姫路の恥だ」と述べ、改善指導を進めるよう強く求めた。また、同製鉄所が粉塵を集めて再利用する設備を4月1日に稼働させたことが原因の一つではないかと指摘した。

市によると、ばい煙をめぐると、03年度は1件、04年度は2件だけだった。急増した苦情に対し、市は今日、福永源八朗・環境美化部長が「指導を真摯に受け止め、環境改善に向けて努力したい」として、工場内からのばい煙などの飛散防止対策を取るよう市に長名の文書を出した。

ばい煙は比較的粒径が大きく重いので大気中で長時間浮かんでいられない「降下ばいじん」と見られる。環境汚染の法的基準はないが、94年に同製鉄所と市が締結した「環境保全協定」の苦情処理条項に基づき、改善を指導したという。同製鉄所は、原因について「調査中」とするが、「指導を真摯に受け止め、環境改善に向けて努力したい」として、工場内からのばい煙などの飛散防止対策を取るよう市に長名の文書を出した。

止め、環境改善に向けて努力したい」として、工場内からのばい煙などの飛散防止対策を取るよう市に長名の文書を出した。

新日鉄広畑周辺

粉じん、悪臭苦情急増

17.6.22 産経

新日鉄広畑製鉄所（姫路市広畑区）周辺で、粉じんや悪臭などへの住民の苦情が今春以降急増していることが、二十一日、わかった。同製鉄所から発生しているとみられることから、市は立ち入り調査を行うとともに、粉じんの飛散防止策の実行などを同社に要請。現時点で健康被害の報告はないが、同社に隣接するテニスコートでは粉じんなどのため利用客が減少。コートは来秋の国体会場にもなっていることから、市が対応を検討している。

市によると、同社周辺で二十五件。一昨年一に入り調査を実施した。同社は「汚染発生源の

どこみられる」として、調査を進めて対応策などをまとめる。市に回答する。同社の北隣には、広畑テニスコート、来年秋の「のじぎょ兵庫国体」ではソフトテニス場の一つになっていて、利用客らの話では、月々から、ベンチが積もって座ることができず、真新しいコートが黒ずむなどの状態が続いており、利用客などは、半分以下に激減する。

別図：恒久対策の配置図

